

雲の上の町

令和7年度梶原町職員採用試験案内

ゆすはら

梶原町職員採用試験を次のとおり行います。

1. 採用予定年月日 令和8年4月1日

2. 職種・採用予定人員・受験資格

職 種	採用予定 人員	受 験 資 格
一 般 事 務	若干名	昭和61年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に定める高等学校卒業以上又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人
保育教諭	1名	昭和61年4月2日以降に生まれた人で、保育士及び幼稚園教諭の資格を有する人若しくは令和8年3月31日までに資格取得見込みのある人
薬剤師	1名	昭和61年4月2日以降に生まれた人で、薬剤師の資格を有する人若しくは令和8年3月31日までに資格取得見込みのある人
放射線技師	1名	昭和61年4月2日以降に生まれた人で、放射線技師の資格を有する人若しくは令和8年3月31日までに資格取得見込みのある人

※上記の受験資格を有する者であっても、次のいずれかの一つに該当する者は受験できません。（地方公務員法第16条に定める欠格条項）

- ① 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ② 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3. 試 験

【一般事務】

(1) 第1次試験

試験区分	試験科目	試 験 日	時 間	場 所
一般事務	基礎能力検査 事務能力検査 パーソナリティ検査 ケーススタディ試験	令和8年 2月14日 (土)	9時30分 ～ 15時00分	梶 原 町 総合庁舎

梶原町の試験は、SCOA総合適性検査を使用します。

(2) 第2次試験（1次試験合格者対象）

- 試験内容：面接
- 試験日時：1次試験合格者に別途通知致します。（3月7日（土）予定）

【保育教諭、薬剤師、放射線技師】

(1) 第1次試験

試験区分	試験科目	試 験 日	時 間	場 所
保育教諭 薬剤師 放射線技師	パーソナリティ検査 論文試験	令和8年 2月14日 (土)	13時00分 ～ 15時00分	梶 原 町 総合庁舎

(2) 第2次試験

- 試験内容：面接
- 試験日時：別途通知致します。（3月7日（土）予定）

4. 受付期間及び時間

令和8年1月5日（月）から令和8年1月30日（金）
上記期間の土日祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

5. 申込必要書類

- ①梶原町職員採用試験申込書（顔写真貼付、自筆押印すること）
- ②最終学歴の成績証明書
- ③受験票送付のための返信用封筒（長形3号 23.5cm×12cm に送付先の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。切手不要）
- ※上記①～③をすべて揃えて提出してください。なお、郵便による受験申込の場合は、簡易書留にて行ってください。

【梶原町職員採用試験申込書】

梶原町役場総務課に備えてあります。また、梶原町役場ホームページよりダウンロードできます。

6. 合格から採用まで

- (1) 合格者は、採用候補者名簿に登載され、原則として令和8年4月1日から梶原町条件付職員として採用されます。
- (2) 給与は、梶原町職員の給与規定により支給されます。

7. お問い合わせ・お申し込み先

〒785-0695 高知県高岡郡梶原町梶原1444-1
梶原町役場 総務課 総務政策係（担当：藤木）
電話：0889-65-1111

ReMORI MONTHLY



2025 年 12 月号
Vol. 27
IN ゆずはら

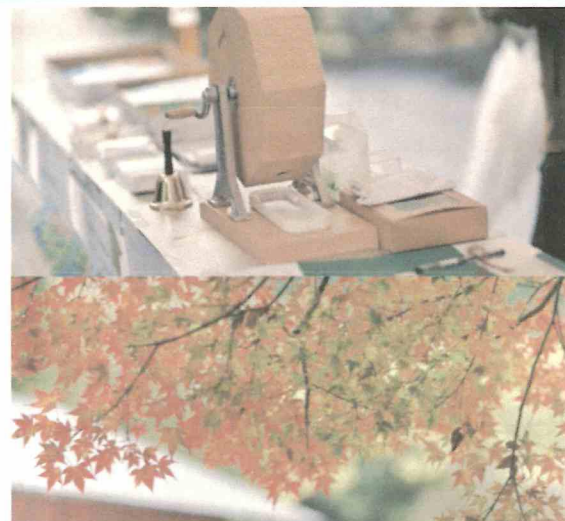
林業情報を発信！
りもりマンスリー

01 Contents

P.02 森林フェスティバル in2025 AUTUMN

P.03 協力隊新隊員 下村 健太 -『林業×教育』-

P.04 想像以上にキツく、想像以上に気持ちいい。
森林づくりの現場へ



02 Instagram

ゆずはら地域おこし協力隊

協力隊の活動、時々プライベートを発信中！
移住者視点の梶原の魅力をお届けします！



吉井香在



下村健太



原田賢者

yoshii_wood.artist

現役協力隊の吉井香在が林地残材で木工作品を制作。
放置されている材に新たな命を吹き込み、作品を通じて自然の美しさを表現します。



WOODNEIGHBORS-ウッドネイバース-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。
ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



株式会社 KIRecub-きりかぶ-

協力隊を卒業した下村智也を代表取締役として、令和6年8月より造林・育林事業を
基軸にした会社として設立。メンバーの大半は協力隊出身の移住者、梶原で林業を学
び前職も全く畑違い。林業の魅力をもっと知ってもらう為に事業を運営しています。



編集・発行：梶原令和の森林づくり協議会 ReMORI-りもり- 笹岡・下村
お問い合わせ：森林づくり脱炭素推進課 TEL：0889-65-0811
お気づきの点、ご意見・ご要望がございましたら上記までご連絡ください。

森林フェスティバル in2025 AUTUMN

11月9日(日)太朗川公園にて森林フェスティバルを開催いたしました。

当日はあいにくの雨天でしたが、約200名の方が来場してくださいました。

前回からも出展していた飲食ブース、ステージ、ワークショップブースに加え、今回は今年8月にオープンしたアクティビティ「FUN MOCK(ファンモック)」も無料開放しました。

FUN MOCK(ファンモック)受付時の、子どもの目の輝きとは対象に、天気を懸念して引き攣る保護者の顔…しかし帰りには親子ともに笑顔で「楽しかった！子どもが喜んでくれてよかった！」という声が聞けて、こちらも嬉しく感じました。



吉田町長(当時)も木工旋盤に挑戦！

ご来場いただいた方のアンケートを一部抜粋してご紹介します。

- ファンモックをインスタで見たことはあったが、初めてやってみてとても楽しく友達を連れてきたいと思った。(津野町)
- 地域のものに触れることができ、楽しかったです。(京都府)
- いっぱい運動できて親子で楽しかったです。春にキャンプしに来ます！(愛媛県)
- 木のおもちゃで楽しく遊んでできました。スタンプラリーも楽しかったです！また来たいです！(香川県)
- パンが美味しかった！(梶原町)
- ステージの楽しそうなメロディーがとても癒されました。木を使った作品づくりが楽しそうでした。(愛媛県)
- あかうし美味しかった！ファンモック楽しかった！(高知市)

協力隊新隊員 下村 健太 -『林業×教育』-

しばらくお休みしていた『ReMORIマンスリー』が、このたび復活しました。今回から編集を担当することになりました、地域おこし協力隊の下村です。紙面づくりを通じて、梶原町の魅力や協力隊の活動を、少しでも身近に感じてもらえたらうれしく思います。

出身は高知市。これまでスポーツ指導、野外活動の引率、小学校教員など、児童に関わる仕事を中心に歩んできました。協力隊に入ったきっかけは、先に協力隊を卒業していた兄の誘いです。いくつかの職を経て気づいたのは、自分がいちばん自分らしくいられるのは、子どもたちと向き合っている時間だということ。新たなライフスタイルである『林業×〇〇』というテーマに興味を持ち、その中で『林業×教育』という切り口なら自分の経験を活かせるのではと考え、入隊を決めました。

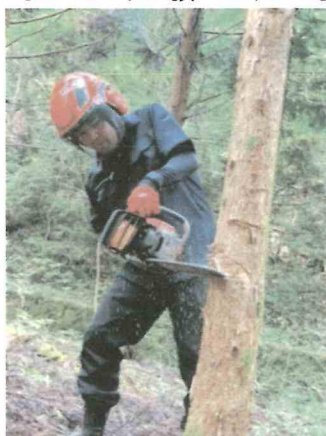
現在は林業に関わる資格取得を目指して、香美市の林業大学校で研修を受けながら、町内の林業事業体（ReMORI加入団体）のもとで実務を学んでいます。体力も技術もまだ未熟ですが、ReMORIの皆さんのあたたかい支援のおかげで、安全に活動を続けられています。

梶原町は両親の故郷でもあり、幼い頃によく祖母の家を訪れました。冬の太郎川公園でソリ滑りをして、長靴に雪が入り、寒さに耐えられず泣いた思い出があります。それでも、あのとき見た雪景色の美しさや自然の力強さは今も心に残っています。そんな豊かな自然を、次の世

代にもつないでいく誇りある仕事に携わりたいと思っています。

また、『林業×教育』の具現化を目指し、森林インストラクターや森林活用指導者の養成講座を受講中です。林業も木育もまだ学びの途中ですが、森林のこれからについて子どもたちに「教える」のではなく、「共に考える」ことができる存在を目指しています。

協力隊としての活動に加え、よさこいや地域の神祭、こども園及び学園での絵本読み聞かせボランティア等にも積極的に参加しながら、このあたたかい梶原町の輪により深く溶け込んでいけたらと考えています。町内の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



慣れないチェーンソーに奮闘中

生き物が好きで、アカハライモリを飼っています。いつかヘビを飼いたいです。



今回の REPORTER - リポーター -



ゆすはら地域おこし協力隊
下村 健太-Kenta Shimomura-
高知市出身の協力隊隊員。令和7年6月より入隊。小学校教員の経験を活かすため木育について勉強中。森林と子どもをつなげるために、まずは自分が森林の仕事に携わる、という思いを持って活動中。

想像以上にキツく、想像以上に気持ちいい。森林づくりの現場へ

梶原製造所より6月21日付で森林づくりに異動し、現在5ヶ月が経ちました。前部署の梶原製造所では、生産管理・受入れ・出荷等しておりましたが、以前より林業に興味があり、プライベートでも時間があれば山や畑で、草刈りをし、最近では梅やしモンなど苗木を買ってきては植えるなどして楽しんでいました。そんな中、希望していた森林づくりへの異動が決まった時はとても嬉しく思いました。

しかし、現実はそのなかに甘いものではありませんでした。まだ6月だとはいえ、半端ない山の暑さで毎日フラフラです。体力には自信があったのですが、前日までエアコンの効いた涼しい工場で働いていたのですから当然ですよね…。三日目ぐらいからは全身筋肉痛で朝の目覚めは最悪、毎日ロボットのような体を引きずって出勤していました。大変だろうなとは思っていたのですが、実際働いてみると想像をはるかに超えるしんどさでした。誰でも簡単にできる仕事ではないので、林業従事者の人手不足や新たな担い手不足が課題と言われるのもうなずけます。

しかし、その分達成感も半端ありません。夏場はずっと下刈りをしていたのですが、生い茂った雑草だらけの施業地に入り、最初は嫌になるほど荒れていた山が、毎日草を刈ることで、どんどん山が綺麗になっていきます。そして、最終刈りが終わった後のその景色は、なんともいえない爽快感と、実際やってみないと分からない想像以上の達成感があります。

林業は、自然を相手にする大変危険で厳しい仕事ですが、反面とてもやりがいのある仕事だと思います。まだまだ始めたばかりの新人ですが、森林づくりの一員として貢献できるよう頑張りたいと思います。

今回の REPORTER - リポーター -

四国部品 株式会社
白石 健志-Takeshi Shiraishi-



四国部品株式会社は自動車部品製造大手の矢崎総業の関連会社として、1988年に香川県で創業。

現在は徳島県に本社を置き、高知県内には、高知工場（越知町）、中芸事業所（田野町）、梶原製造所（梶原町）があり、自動車の心臓部分とされるワイヤーハーネスを生産している。

2020年11月より、梶原町及び森林組合と手を取り合い森林づくり事業の検証を行い、2023年春より「令和の森林づくり」に参加し造林事業をスタートさせた。

白石さんは、同社の三人目の山師として奮闘中。



梶原町 雲の上の図書館 TEL0889-65-1900



雲の上の映画会 上映予定

諸事情により、上映日程や上映作品が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
PG12とは、12歳以下のお子様に見せる前に保護者が内容を確認することを推奨する作品です。

1月10日(土)

14時上映開始



明日をへぐる

高知

ドキュメンタリー

土佐和紙の原料となる楮(こうぞ)をめぐる山里の人々の暮らしを記録したドキュメンタリー。和紙の文化を通して、効率化された現代社会を見つめ直す

2021 / (c)SIGLO

1月17日(土)

14時上映開始



最強のふたり PG12

ドラマ

事故で首から下が麻痺した大富豪と、刑務所帰りの介護人という正反対の2人が、互いに衝突しながらも友情を育み、人生の喜びを取り戻していく物語

(c) 2011 SPLENDIDO / GAUMONT / TFI FILMS PRODUCTION / TEN FILMS / CHAOCORP

2月14日(土)

14時上映開始



マチネの終わりに

日本映画

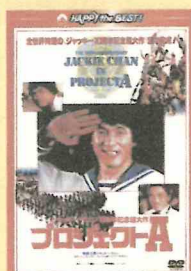
書籍原作

ギタリストとジャーナリストの男女が、運命的な出会いを果たし惹かれ合うものの、それぞれを取り巻く現実で翻弄され、すれ違っていく。原作:平野啓一郎

©2019「マチネの終わりに」製作委員会

2月28日(土)

14時上映開始



プロジェクトA

アクション

ファミリー

20世紀初頭のイギリス統治下の香港を舞台に、海賊退治に奮闘する3人の若者が、友情を深めながら一味を追い詰める痛快カンフーアクションコメディ

© 2010 Fortune Star Media Limited. All Rights Reserved.

3月14日(土)

14時上映開始



犬神家の一族

日本映画

書籍原作

莫大な財産を持つ犬神佐兵衛の死後、遺産相続を巡って一族に連続殺人事件が発生するミステリー。名探偵、金田一耕助が事件解決に奔走する

©KADOKAWA 1976

3月28日(土)

14時上映開始



おまえうまそうだな

アニメ

ファミリー

草食恐竜に育てられた肉食恐竜ハートが、草食恐竜の赤ちゃんウマソウと出会い、父と子の絆を育んでいく。弱肉強食の世界で本当の家族を描く感動の物語

(C)宮西達也/ポプラ社・おまえうまそうだな製作委員会

11



第3号

橋高だより

高知県立橋原高等学校

〒785-0610

高知県高岡郡橋原町

橋原1262

TEL (0889) 65-0181

FAX (0889) 65-0172

令和7年12月24日発行

伝統を未来につなぐ

橋原ディスカバークラブ 武正 泰

橋原ディスカバークラブは、地域に受け継がれてきた津野山神楽の継承を目的に発足し、これまで多くの先輩方が地域の方々とともに活動を続けてきました。本年度は、その長年の取り組みが評価され、9月に文教文化賞の最高賞である文教協会賞を受賞しました。伝統を未来につなぐ一員として認められたことを誇りに思うと同時に、これからの責任も感じています。

また、11月に行われた高知県高等学校総合文化祭において、2年連続となる最優秀賞を受賞することができ、来年度、秋田県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場の切符を掴みました。今後はそこに向けて頑張る後輩たちの力になれるよう一層励んでいきたいと思っています。

最後に、いつも私たちの活動を支えてくださる橋原町津野山神楽保存会の方々をはじめ、応援してくださる地域の方々への感謝を胸に、これからも高校生として神楽の伝統を守り、魅力を発信し続けていきたいです。



高文祭を振り返って

11月11日～16日の期間、高知市文化プラザかるぽーと等で第48回高知県高等学校総合文化祭が開催されました。本校からは、橋原ディスカバークラブ、美術部、書道選択生が発表や展示に参加しました。

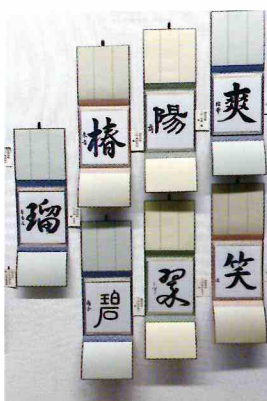


今回の高文祭では演目を「山探し」を披露しました。このために9月から週3日、放課後に集まって2時間ほどの練習を重ね、最初は楽と舞とが合わないことも多くありましたが、保存会の方のご指導や部員みんなの努力もあり、綺麗に合わせられるようになりました。本番は大きなミスもなく無事に終わることができ、自分たちの目標であった最優秀賞を獲得し全国大会出場が決まりました。これからも練習を重ね、良い結果が残せるように頑張りたいと思います。

(橋原ディスカバークラブ 津野真優斗)

私は今回の高文祭に参加して、自分の実力が確実に上がっているなと感じました。また、一人で作品を作ること、同年代の

人の作品を見てから作品に打ち込むのでは大きな差があると思いました。自分はデジタルで作品制作をしましたが、高文祭の作品のほとんどは大きなキャンバスに絵の具をのせるアナログな作品です。見た時の迫力と制作にかかる時間を考えるだけで、絵を描くことが好きなのが伝わってきました。私も他の人が心ひかれるような作品づくりに努めていきたいです。(美術部 藤原萌愛)



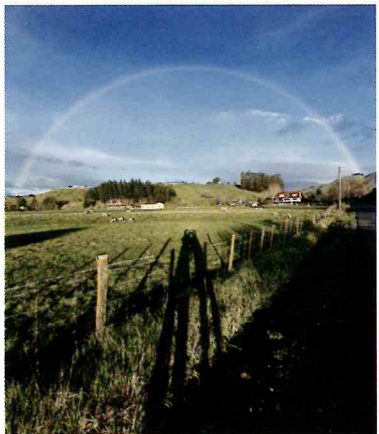
私は芸術の選択科目で書道を学んでいます。今回、高文祭に向けて各自が好きな一文字を選び、作品として仕上げる取り組みを行いました。私は「碧」という字を選びました。この字は、澄み渡る海のような深い青緑色を表します。清らかな心とどこまでも広がる可能性を込めて、この一文字を書きました。また、一人一人の文字や書き方にもその人の個性が出ており、見ていると楽しめる作品になったと思います。(書道選択 野口璃子)

令和7年度 橋原高校文化祭

9月26日・27日の2日間の日程で燕神祭(文化祭)を開催しました。本年度は「青瞬旺華」をテーマに掲げ、各クラスの企画、ステージ発表などを行いました。生徒一人一人が青春を謳歌できた文化祭だったように思います。ご多忙の中、多数の保護者の皆様、地域の皆様、関係の皆様方にご来場いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



ゆす高ダイアリー 留学



2B 高橋 星依来

私は約5ヶ月間、ニュージーランドへ留学しました。初めは英語での会話に緊張しましたが、ホストファミリーとの買い物やクラスメイトとの交流を通して徐々に打ち解け、言葉だけでなく文化の違いも肌で感じる事ができました。

学校の授業では、意見を求められ、日本の文化や自分が住んでいる地域を発表する機会がたくさんあり、あらためて日本や地元の魅力に気づくことができました。

とができて、とても嬉しかったです。また、様々な国の友達ができ、日本以外のコミュニティを築くことができました。これもこれからの人生に大きな影響を与えていると思います。

この経験を通して得た学びや自信は、今後新しいことに挑戦するときの支えとなり、自分の将来をより豊かにする財産になると感じています。



2B 服部 満月

私は夏休みに「トビタテ」留学JAPANを通してフィジーに1ヶ月間、探究留学しました。探究テーマは「地域を育てる正しい支援と教育の形」で、現地の人々が自立できる支援や高知県での持続可能な地域づくりについて学びました。

現地では保育園や幼稚園でのボランティアやフィジーの語学習、現地の料理作りなど文化体験を通して、自分の知らない世界に触れる貴重な経験となりました。

ました。また、初めて発展途上国を訪れ、自分の生活がどれほど恵まれているのか気づくことができました。今回学んだことを学校生活や地域の活動に生かしていきたいです。

龍馬脱藩マラソン ボランティア



まずは龍馬脱藩マラソンの運営に携わられた皆様、そしてランナーの皆様、本当にお疲れさまでした。今回私は人生で初めて被り物を身に付けてボランティアに参加させていただきました。この大役を務めるうえで、「自分は坂本龍馬としてどんなことができるだろう」と毎日夜遅くまで考えていました。そこで見えてきた龍馬像は「誰もが親しみやすい龍馬」です。表情を変えることができない以上、いつもより大げさに身振り手振りをしたり、ランナーの皆さんを拍手やハイタッチでお迎えることを心掛けました。そ



龍馬脱藩マラソンに選手として参加させていただきました。フルマラソンのコースは想像を絶するほどの高難易度のコースでしたが給水エイドや沿道での教職員や地域の皆様、特に生徒の皆さんの応援に何度も力をもらい無事に完走することができ感謝の気持ちでいっぱいです。私自身今回の経験を今後の教育活動に活かしていきたいと思っています。また選手目線



うすることで、多くの方にお声をかけていただき、写真も撮っていただきました。今年で生誕190歳を迎える坂本龍馬さん。龍馬さんなら脱藩の道を駆けるランナーの皆さんをどんなふうに応援したのだろうと考えさせられる一日となりました。

(井手拓美)

校内マラソン大会

保健体育科 溝渕 康介

多くの先生方のサポートや町内の皆さんの温かい声援のもと、11月6日に校内マラソン大会が行われました。本校から越知方面方向に向かって、男子は10キロ、女子は6・5キロの道のりをそれぞれが目的意識をもちながら、仲間と一緒に駆け抜けました。

男子は1年生の谷田瑛太くんが優勝、女子は3年生の下元里奈さんが優勝しました。不安やドキドキを胸に、スタート後は笑顔も見られ、普段の持久走や部活動の成果を発揮することができたと思います。このマラソン大会を通して得ることができた「仲間を認める」ことや「やりきった達成感」などを大切に、今後の学校生活も駆け抜けていきましょう。



《令和7年度 校内マラソン大会 入賞者》

男子の部 (10 km)			女子の部 (6.5 km)		
1位	谷田 瑛太	45分19秒	1位	下元 里奈	33分06秒
2位	中越 青空	45分33秒	2位	西添 朱音	35分08秒
3位	山下 紘生	45分53秒	3位	廣瀬 花乃	36分12秒
4位	高平昇太郎	48分28秒	4位	伊賀しずく	37分08秒
5位	堀内裕一朗	49分17秒	5位	三輪 愛未	37分27秒
6位	山下 恵斗	49分30秒	6位	松下明里咲	37分40秒
7位	又川 春真	49分44秒	7位	村上 瑠唯	37分49秒
8位	小沢 将慶	50分54秒	8位	上田 楽々	38分36秒

